

東高津こども文化センターご利用者さまアンケート集計結果

実施期間

2025年10月11日～10月31日

回答数

配布数 64 有効回答数 63 有効回答率 98.4%

集計結果 (単位:%)

①こども文化センターは楽しく過ごせていますか？

そう思う 71.4 ややそう思う 17.5 どちらともいえない 3.2 あまり思わない 1.6 そう思わない 1.6 無回答 4.8



②こども文化センターの行事は充実していると思いますか？

そう思う 61.9 ややそう思う 23.8 どちらともいえない 6.3 あまり思わない 3.2 そう思わない 1.6 無回答 3.2



③施設の利用ルールは分かりやすく、安心して利用できますか？

そう思う 66.77 ややそう思う 28.6 どちらともいえない 4.8 あまり思わない 0.0 そう思わない 0.0 無回答 0.0



④施設の職員は対応がよく、相談しやすいと思いますか？

そう思う 76.2 ややそう思う 11.1 どちらともいえない 1.6 あまり思わない 7.9 そう思わない 3.2 無回答 0.0



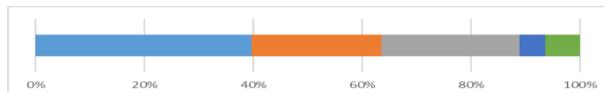
⑤施設の清掃は行き届いていると思いますか？

そう思う 77.8 ややそう思う 17.5 どちらともいえない 3.2 あまり思わない 1.6 そう思わない 0.0 無回答 0.0



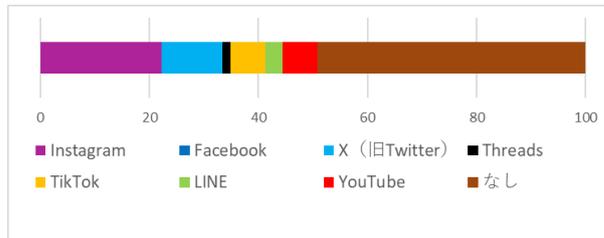
⑥HP・こども文化センター通信はわかりやすいですか？

そう思う 39.7 ややそう思う 23.8 どちらともいえない 25.4 あまり思わない 0.0 そう思わない 4.8 無回答 6.3



⑦一番よく利用するSNSについて教えてください。

Instagram 22.2 Facebook 0.0 X 11.1 Threads 1.6
TikTok 6.3 LINE 3.2 Youtube 6.3 なし 49.2



どのように過ごしているか教えていただけますか？

■乳幼児

乳幼児は、おもちゃ遊びが中心で、「なかよし室」「テラス」「集会室」「遊戯室」など館内の複数スペースを使い分けながら過ごしている様子が見られます。内容としては、シルバニアやボール、幼児用自転車、バドミントンなど、静的な遊びと身体を動かす遊びが混在しています。支援センターの利用とあわせて来館する記載もあり、子育て期の外出先として活用されている傾向があります。

■小学校1～2年生

回答数は多くありませんが、玩具遊びや集会室利用、読書など、館内資源を活かした過ごし方が中心です。低学年層では、遊び道具(おもちゃ)への関心が比較的強い傾向がうかがえます。

■小学校3年生

ゲーム(ニンテンドー等)、マンガ・読書、ぬり絵、トランプ、シール交換など、過ごし方が多様化します。集会室の利用が複数あり、友達同士で遊ぶ(卓球を含む)交流型の利用も目立ちます。遊びの種類が「ゲーム+静的活動(読書・ぬり絵)」の両面に広がっている点が特徴です。

■小学校4年生

ゲーム、集会室利用に加えて、ドッジボールとマンガが複数挙がっており、身体活動と室内活動が並行して行われています。「ダラダラしている」といった記載もあり、遊びだけでなく“居場所としてゆったり過ごす”利用も一定数あることがうかがえます。

■小学校5年生

活動の幅がさらに広がり、ゲーム・マンガに加え、ビーズ、人生ゲーム、オセロ、DIXIT などボードゲーム系、勉強などが挙がっています。集会室利用や友達と過ごす回答も多く、交流の場としての機能が強い学年層です。また、「シンコブンにいる」という記載が複数あり、場所そのものを拠点として日常的に利用している様子が見られます。

■小学校6年生

マンガやオセロを中心に、集会室利用を組み合わせる傾向が見られます。「色々やる」「楽しく」といった包括的な回答もあり、固定の遊びに限定せず、その日の状況に応じて過ごしている様子がうかがえます。

■中学生

中学生は、集会室での活動が中心で、卓球、バドミントン、ボール遊び、ゲーム、スマホゲーム、友達との会話などが混在しています。運動・遊び・交流が同じ空間内で展開される傾向が強く、図書室利用の記載も一部あります。保護者と一緒にバドミントンをするなど、年代を越えた関わり方も見られます。

こども文化センターでやって欲しい行事はありますか？

■乳幼児

乳幼児向けでは、リトミック、ピアノコンサートなど音楽系の希望が見られます。また、バドミントンを上手な人に教えてほしいという要望(初心者支援)や、フリーマーケット(不用品処分)の提案もあり、親子の生活に寄り添う企画への関心がうかがえます。

■小学校低学年(1～3年)

小学校1年生では集会室でのドッジボール希望が挙がっています。小学校3年生では、ハロウィン(仮装含む)イベントが複数、フラフープ大会など“大会形式・季節行事”への関心が見られます。

■小学校中学年(4年)

カラオケ(大会含む)やサッカー大会、フォートナイト・ロブロックス等のゲーム系の企画が挙がっており、娯楽性が高く、友達同士で盛り上げられるイベントへの期待が見られます。

■小学校高学年(5～6年)

ゲーム大会、オセロ大会、ぬり絵大会、チョコ作り体験、イカ焼きなど、遊びと体験が組み合わさった希望が見られます。季節行事としてハロウィン・クリスマスのパーティー希望もあり、季節感のある企画への需要が確認できます。

また、集会室・テラスの利用時間を延ばしてほしいという“行事”以外の要望も本設問内に含まれており、イベントとあわせて活動時間への期待がある点が特徴です。

小学校6年生では「〇〇大会」のような大会形式、グミ作り、ハロウィン、スマホゲーム大会などが挙がっています。

■中学生

卓球大会、スマホゲーム大会のほか、「中学生向けイベントもやってほしい」という直接的な要望があり、年代に合った企画設定への期待が明確に示されています。

こども文化センターに望むことや不満を感じていることがあれば教えてください。

いただいたご意見は、主に「備品・遊具」「利用時間・運用」「環境(静けさ)」「ルール・マナー」「安全・配慮」「設備(ラケット等)」に整理できます。

■乳幼児

年齢の違う利用者間での玩具利用への配慮(小さなパーツ等への心配)
乳幼児層では、設備よりも“安全面・利用状況への不安”が中心です。

■小学校1～2年生

リカちゃん人形を増やしてほしい
集会室の利用時間を長くしてほしい
シルバニアの車・家がほしい
マンガを増やしてほしい
低学年では、具体的な玩具・マンガなど備品への要望と、集会室利用時間への希望が見られます。

■小学校3年生

「そのまま楽しい」という満足意見
工作や折り紙を増やしてほしい(折り紙が好きという理由を含む)
マンガを増やしてほしい
満足の声がある一方で、好きな活動(工作・折り紙)をもっとできるようにしてほしいという前向きな要望が見られます。

■小学校4年生

スタッフにもっと優しくしてほしい(複数)
集会室の利用時間を長くしてほしい(複数)
職員対応への要望が複数あり、対人面の“安心感”を求める声が特徴的です。また、集会室利用時間の延長要望も重なっています。

■小学校5年生

日曜日も開館してほしい
ゲームの回数を増やしてほしい
静かにしてほしい
利用機会(曜日・回数)への希望と、館内の静けさ・過ごしやすさへの要望が並立しています。

■小学校6年生

こま(遊具・備品)を増やしてほしい
具体的備品への要望が中心です。

■中学生

館内をもう少し静かにするための声かけをしてほしい

ルールを守るよう声をかけてほしい(自転車の置き方等のマナー含む)

バドミントンのラケットを増やしてほしい

何か販売してほしい

集会室へのボール持ち込みを可能にしてほしい

声のボリュームに関するルールづくり・注意喚起をしてほしい

卓球の粒ラケットを用意してほしい／卓球ラケットを増やしてほしい

中学生では「ルール・マナー」「静けさ」「備品拡充(卓球・バドミントン)」に要望が集中しています。空間の使い方に関する具体的提案が多い点が特徴です。

こども文化センター以外でよくいく場所があれば教えてください。

乳幼児は公園利用が中心で、商業施設(グランツリー、武蔵小杉、溝の口周辺のキッズスペース等)も複数挙がっています。

小学生は近隣公園(1丁目・2丁目公園、下野毛2丁目公園、長津田公園など)の利用が多く、友達の家への訪問も見られます。二子こ文、宮内こ文など他館の利用も一部確認でき、地域内で複数の遊び場を使い分けている傾向があります。

中学生はカラオケ、丸井、イトーヨーカドー、高津スポーツセンター、川崎市麻生スポーツセンター、多摩川周辺など行動範囲が広がり、活動拠点が分散しています。

■全体傾向まとめ

乳幼児は玩具遊び中心で、複数スペースを使い分けながら過ごしている。

小学生は「集会室＋ゲーム／マンガ／ボードゲーム／ドッジボール」など活動が多様で、学年が上がるほど交流型・滞在型の利用が増える。

行事希望は、季節行事(ハロウィン等)や大会形式(カラオケ、サッカー、卓球、ゲーム)に加え、中学生向け企画の拡充希望が明確。

改善要望は、①集会室の利用時間延長、②静けさ・音量・ルール順守など環境調整、③備品(卓球・バドミントン)拡充、④職員対応(優しさ・安心感)に整理できる。

全体として“遊び・運動・交流”が同じ場に集まる傾向があり、利用ルールやゾーニング(静かな場所／活動場所)の整備が快適性向上に寄与する可能性が示唆される。

今後もいただいたご意見を参考に、より安心して利用できる居場所づくりに努めてまいります。